

項目	平成27年度事業		項目	平成28年度重点事項	平成28年度事業		事業説明	【平成28年2月19日 平成27年度第2回会議での協議委員会意見等】	
1	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図る。	①	レファレンス・サービスの充実	1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	①	貴重資料の公開	所蔵している貴重資料を定期的にエントランスで展示する。	○「行政支援の強化」の評価が『B』というのは厳しい感じがする。図書館としては、足りない部分があるとしても、一定の方策は打っているのだから、これは受け手の問題だと思う。 ○「当市をはじめとする郷土に関する各種資料の収集・保存・活用」については、長岡市災害復興文庫事業を立ち上げ、全国の関係機関・団体と連携し、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国に発信するなどの成果を上げている。 ○「市民の意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる」については、寄せられた意見を図書館運営に反映させ成果を上げていると認められる。 ○美術センター展示会のオープニングの工夫が素晴らしかった。今後も工夫を重ねていただきたい。期待している。 ○工夫を凝らした多様な事業展開に取り組み、成果を上げている。 ○勉強会や研修会をしっかりと行っており、成果を上げている。 ○新システムの機能をさらにPRしていく必要がある。
		②	各図書館のテーマコーナーの整備			②	郷土資料の充実	情報収集をして郷土資料を積極的に収集する。	
		③	行政支援の強化			③	古文書等の歴史資料の収集・保存・活用	古文書等の歴史資料の目録を作成し、公開して市民の利用に供する。	
2	当市をはじめとする郷土に関する各種資料の収集・保存・活用に努める	①	貴重資料の公開	2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図る。	①	中高生向け図書館しごと応援事業	図書館しごと応援事業として、中高生向けの新コーナーを設置する。	○「子どもが騒ぐので一緒に図書館に行き難い」という声があった。子どもが騒いでも大丈夫な工夫やサービスができないか。 ●Web予約点数が15点までとなっているが、少ないのではないかと思う。 ●国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスは、もっと使われてもよいと思う。PRしてほしい。 ●長岡市災害復興文庫はどう使ってもらうのが大事。小中学校の総合学習、高校生や大学生の課題学習、コミュニティセンターの講座など、活用に向けた取り組みを進めてほしい。 ●市制施行110周年は大々的にやるべき。「写真と資料で振り返る市制施行110年のあゆみ展(仮称)」はどういうものになるのか。
		②	郷土資料の充実			②	庁内行政支援レファレンス	長岡市職員に図書館サービスを知ってもらい、行政の課題解決を援助する。	
		③	古文書など歴史資料、歴史公文書の収集・保存・活用						
		④	長岡市災害復興文庫(被災歴史資料・災害復興関連資料)の収集・整理・保存・活用						
3	市民の意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる	①	利用者アンケートの実施	3	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	①	利用者アンケートの実施	例年どおり実施し、昨年との比較や現状の利用者の意見を把握したい。HPでのアンケートも実施する。	●「子どもが騒ぐので一緒に図書館に行き難い」という声があった。子どもが騒いでも大丈夫な工夫やサービスができないか。 ●Web予約点数が15点までとなっているが、少ないのではないかと思う。 ●国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスは、もっと使われてもよいと思う。PRしてほしい。 ●長岡市災害復興文庫はどう使ってもらうのが大事。小中学校の総合学習、高校生や大学生の課題学習、コミュニティセンターの講座など、活用に向けた取り組みを進めてほしい。 ●市制施行110周年は大々的にやるべき。「写真と資料で振り返る市制施行110年のあゆみ展(仮称)」はどういうものになるのか。
		②	友の会事業			②	友の会事業	図書館支援団体として図書館と連携し、活動を会の運営に活かす。	
		③	ご意見ポストの設置			③	ご意見ポストの設置	日々の利用者の意見を聞き、今後の業務に活かす。	
4	積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、さらなる利用の拡大を図る。	①	美術センター自主事業「合併10周年記念 郷土長岡を創った人びと展～中央図書館所蔵資料を中心に～」の開催	4	積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。	①	「写真と資料で振り返る長岡市制施行110年のあゆみ展」の開催	明治39年から現代まで、平成の大合併で大きくなった全11地域のあゆみを、写真パネルや関連資料等で紹介する。	●「子どもが騒ぐので一緒に図書館に行き難い」という声があった。子どもが騒いでも大丈夫な工夫やサービスができないか。 ●Web予約点数が15点までとなっているが、少ないのではないかと思う。 ●国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスは、もっと使われてもよいと思う。PRしてほしい。 ●長岡市災害復興文庫はどう使ってもらうのが大事。小中学校の総合学習、高校生や大学生の課題学習、コミュニティセンターの講座など、活用に向けた取り組みを進めてほしい。 ●市制施行110周年は大々的にやるべき。「写真と資料で振り返る市制施行110年のあゆみ展(仮称)」はどういうものになるのか。
		②	子ども読書活動推進計画関連事業の実施			②	各種機関と連携した事業の実施	まちゼミ、まちぼんなど民間機関と連携した事業を展開する。出版社や地元企業との共催事業を行う。	
		③	地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施			③	子ども読書活動推進計画関連事業の実施	・学校や家庭等での子どもの読書活動推進に役立つ講座等を実施する。 ・保育園等へ出向いての読み聞かせボランティア「どんぐり」の活動や保護者や保育士を対象とした絵本講座	
						④	地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	【新規事業】 ・中之島地域図書館：六角風絵付け体験(中之島風組合に六角風作成を依頼) ・北地域図書館：としょかんDEサイエンスショー(長岡技大サークルに講師依頼) 【その他】近隣団体や学校と連携した展示会(長岡空襲写真展、信濃川写真展、中越高校写真部の写真展、新潟県花火大会ポスター展示等)や地元地域に関連した、摂田屋醸造歴史さんぽ、地元商店街との雁木あいぼ参加、等で利用者や図書館をつなぐ様々な事業を行う。	
5	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	①	外部研修	5	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	①	外部研修	・県立図書館等が主催する研修に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップをめざす。 ・地域館では、県立図書館等の外部研修には今年度も積極的に参加していきたい。	●「子どもが騒ぐので一緒に図書館に行き難い」という声があった。子どもが騒いでも大丈夫な工夫やサービスができないか。 ●Web予約点数が15点までとなっているが、少ないのではないかと思う。 ●国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスは、もっと使われてもよいと思う。PRしてほしい。 ●長岡市災害復興文庫はどう使ってもらうのが大事。小中学校の総合学習、高校生や大学生の課題学習、コミュニティセンターの講座など、活用に向けた取り組みを進めてほしい。 ●市制施行110周年は大々的にやるべき。「写真と資料で振り返る市制施行110年のあゆみ展(仮称)」はどういうものになるのか。
		②	職場内研修			②	職場内研修	・主に主任以上の職員が講師となり研修を行う。接遇研修、レファレンス研修を行う予定。休館日削減のため、全員が集まる機会が取れない。 ・地域館では、TRCが主催する県内合同の職場研修会や勉強会に参加するとともに、本社から配信されるeラーニング講座を受講し、職員の資質の向上を図る。	
6	新システムを活用するなど利便性の向上を図るとともに、快適な環境づくりに努める。	①	新システムの活用	6	利便性の向上を図り、快適な環境づくりに努める。	①	子ども連れへのサービス	乳幼児が少し騒いでもよい時間を設定した「親子タイム」を試行する。	●「子どもが騒ぐので一緒に図書館に行き難い」という声があった。子どもが騒いでも大丈夫な工夫やサービスができないか。 ●Web予約点数が15点までとなっているが、少ないのではないかと思う。 ●国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスは、もっと使われてもよいと思う。PRしてほしい。 ●長岡市災害復興文庫はどう使ってもらうのが大事。小中学校の総合学習、高校生や大学生の課題学習、コミュニティセンターの講座など、活用に向けた取り組みを進めてほしい。 ●市制施行110周年は大々的にやるべき。「写真と資料で振り返る市制施行110年のあゆみ展(仮称)」はどういうものになるのか。
		②	学習室などの環境整備			②	学習室などの環境整備	・前庭にカフェスペースを整備する(魅力づくり事業)。 ・オンラインデータベースを増設する。	
		③	BM(米百俵号)によるサービスの充実			③	館外サービスの充実と利用の拡大を図る。	・BM(米百俵号)の一般巡回13コース(102か所)を10回巡回する。 ・小学校・保育園26か所で読み聞かせを行う。 ・夏季に市内小学校(6~10か所)で米百俵号ブックカーニバルを実施する。 ・市内小学校42校に学校配本を行う。	